

(別紙4(2))

医療法人有心会  
事業所名: グループホーム茜雲  
作成日: 令和 2年 3月 4日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束委員会を設置しているが、議事録等の記録の整備が課題。職員個々の身体拘束についての考えや理解が深められるよう更なる取り組みが必要。	身体拘束委員会での議事録の作成。職員が身体拘束について理解が深められるように、研修等の参加や身体拘束委員会に参加してもらう。	身体拘束委員会の議事録の作成。身体拘束委員会の日に出勤している職員の参加。出勤していない職員には、議事録に目を通してもらい理解を少しでも深めてもらう。身体拘束の研修がある際には、率先して参加してもらう。	3ヶ月
2	35	自衛消防組織図で職員個々の役割を決めているが、勤務体制によって役割が変更となることについて職員の理解に不安がある。	入居者の安全確保に繋がるように職員一人ひとりに役割を明確にし、不安がないようにする。	毎日管理者およびユニットのリーダーがその日の出勤者に通報連絡班・消火班・避難搬出班を決め自分が何をしたらいいのかを明確にし、勤務にあたってもらう。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。